

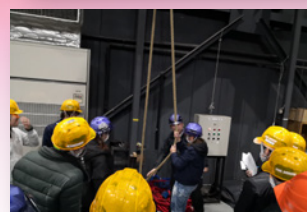


リギング講習会 2020

さる2月18(火)、浦安舞スタジオにてリギング講習会を行いました。昨年11月に新入社員や経験の乏しい若手社員を対象に近い内容で勉強会を行いました。協力会社の皆さんにも多数お越し頂き、満を持しての拡大版の開催となりました。

午前の部では、はじめにリギングのスペシャリスト、モリオフィス代表の森さんによるリギングの考え方やテクニックを基礎から応用までご教示頂き、続いて資材管理課の島津さんからはモーターの操作やユニットの種類の使い方、個々の特徴等を習い、さらに普段管理されている数多くのリギング資材の実物展示を解説して頂きました。

午後の部では、技術部イベント施工課の河合係長による綱元講習～設計安全監理課の寺島課長による張力や傾き荷重の実験～ビームやワイヤー、ロープ、鉄骨・木工製作物の吊り金具等の強度実験・破壊テスト等を行いました。安全手帳では許容荷重や破断荷重が書かれてはいますが、本当にスペック通りの強度はあるのか、破断荷重に達した時にどの様に切れたりするのか、特に経験の浅い社員の皆さんには貴重な経験であり強烈な記憶として今後の糧となるでしょう。



参加した新入社員にお話を聞きました



技術部イベント施工1課
風間 南実さん

Q.印象に残ったことは?

森さんの講義です。現場の流れがわかってきたところだったので、このタイミングでリギングについて学べたのが良かったです。操作盤には触れる機会が少ないですが、種類や違いも詳しく知らなかったので勉強になりました。普段安全には気をつけているものの、使い方を誤ればワイヤーは切れるしビームも折れる。現場で“起きてはいけない事”を見ることが出来、正直怖いと思ったが良い経験になりました。

Q.今後の活動にどう活かそうですか?

モーター操作時の“ワンタッチ”ひとつで荷重計の数字が大きく変わることがわかったので、今後の現場でのリギング作業では高さの値に加えてバランスにも注意します。また、作業の過程、仕上がり時の確認作業をより丁寧にやろうと思います。



技術部設計安全監理課
吉田 貴秀さん

Q.印象に残ったことは?

設計監理課の業務として携わることが多い内容の諸々確認が出来ました。張力は普段の現場作業でもおろそかにしがちの要素でした。破壊テストの破断や壊れ方は想像を超えるものでした。安全手帳には許容荷重や破断荷重が書かれていますが、いずれもデータ通りだったので、より自信を持って仕事ができそうです。

Q.今後の活動にどう活かそうですか?

様々な条件でアンバランスな吊り方を余儀なくされることが多いと思うので、今回の講習の実験結果が今後に活かせると思います。また、リギング講習会は復習の意味でも今後も開催していただきたいと思います。

安全スローガンが新しくなりました

安全衛生向上委員会では2020年度のスローガンを新たに決めました。社員の皆様にもヘルメット用のステッカーを配布しておりますので、安全スローガンとともに日々の安全意識向上が浸透していければと思っております。引き続き、本年度も社員一人一人の安全への取り組み、ご協力お願い致します。

今日の安全 明日の信頼

日本ステージ安全衛生向上委員会